

令和6年度 芳賀北小学校 学校経営計画 グランドデザイン

学校教育目標 「学ぶ子」「守る子」「がんばる子」「ふるさとをおもう子」

人間尊重の精神を基盤とした全教育活動を通して、学校教育目標の具現化を進め、全ての教職員の力を結集し、これからの時代を生きる芳賀北小児童一人一人の確かな学びと健やかな成長を保障するため、社会に開かれた教育課程を展開することで、学校・家庭・地域が一致団結して相互に関わり合いながら充実した学校経営を推進する。

【学校経営の方針】学校と社会が連携・協働しながら、新しい時代に求められている資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、家庭・地域と学校の連携・協働の推進が重要である。「知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の実践」「地域とともに歩む学校づくり」「チームとしての学校力を高めるための組織的な学校づくり」を経営の基盤に据えて、教職員と家庭、地域が一致団結して確かな学力の育成、心豊かで心身共にたくましい児童、ふるさと芳賀町の将来を担う人材の育成を目指す。

地域とともに歩む学校づくり

学校

家庭 地域

役割分担して相互に連携

学校力を高める組織的な学校づくり

めざす児童像 (学校教育目標)

学ぶ子

守る子

がんばる子

ふるさとをおもう子

努力点5 チーム芳賀北小

教職員の資質向上とチームとしての学校力を高めるための組織的な学校づくりを推進

- 全職員で「社会に開かれた教育課程」を共有する。
- 資質向上を目指す教職員研修
 - ・「一人一研究授業」の実施
 - ・道徳授業の公開
 - ・現職教育の工夫・改善
 - ・北小版「学業指導の手引き」を作成し「授業づくり」、「学級経営」のコツをベテランと若手が共有することで、学級経営の向上につなげる。
- 目標の共有化と学校経営参画意識の醸成
 - ・プロジェクト4によるR-PDCAと全教職員の学校経営への参画
 - ・感覚ではなく数値化を図る。
 - ・学校運営協議会委員と全職員で学校の未来(将来像)を考える。
- 働き方改革の推進
 - ・学校支援ボランティアなど、地域の力を導入し業務軽減を図る。
 - ・ワークライフバランスDayを実効性のあるものにする。(学年・個人で「でした方式」)
- 直面する学校課題への対応
 - ・特別な支援を要する児童の増加への対応
 - ・若手教員に対するOJT、OJL
 - ・コロナ後の行事の検討を行い、各種活動の整理統合、スクラップを推進する。

努力点1 学ぶ子

確かな学力を育む学習指導の推進

- 一部教科担任制の導入を図るなど、専門性を高め、わかる授業を展開する。
 - ・専科教員や授業入替による一部教科担任制を導入し、専門性を高めた「わかる授業」を展開する。
 - ・教師の指導力向上に向けた相互授業参観を行う。
 - ・授業における「めあて」の提示とまとめ、振り返りを徹底する。
- 学び合い学習を展開し、主体的・対話的で深い学びを実現することで、児童の学力の向上を図る。
 - ・算数を中心とした「学び合い学習」を展開することで、教師の指導力向上を図る。
 - ・「学び合い学習」を通して、学びに向かう集団づくりを行う。
 - ・町教委の学力向上推進事業であるICT活用による個別最適な学びを展開する。
- 家庭学習(自主学習)の充実
 - ・「北小版家庭学習の手引き」を作成し、児童・保護者と共有する。
 - ・家庭を巻き込んで「自主学習強調週間」を行う。
- 特別支援教育の充実
 - ・インクルーシブ教育の実践
 - ・全ての児童に「授業に参加している充実感」を与える指導・支援の工夫
 - ・主体的に学ぶ意欲を伸長する自立活動の工夫

努力点2 守る子

豊かな人間性と社会性を育む教育の推進

- 道徳教育の充実
 - ・芳賀四町教育研究協議会・道徳会場校研修に向けて研修を重ね、道徳授業の改善に努める。
 - ・人や自然、社会との関わりを深める体験活動を実施する。
- 人権教育の充実
 - ・いじめを許さない指導の徹底
 - ・「はがまるふるさと学校」「総合的な学習の時間」など福祉に関する体験学習を充実させる。
- 基本的な生活習慣の確立
 - ・「北小っ子の一日」を基に、「あいさつ、安全、集まり方」の「3つのあ」を重点的に指導する。
- 居心地の良い学級づくり
 - ・web-QUの結果を活用する。
 - ・北小版学業指導の手引きの活用
- 「花と歌と本」がある学級経営
 - 【花】命あるものに触れる感動が優しい心を育てる。
 - 【歌】歌うことで仲間意識が高揚し、学級全員に一体感が生じる。
 - 【本】言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにする。
- キャリア教育の推進
 - ・本校版キャリア教育全体計画を作成し、キャリア教育と各教育活動と関連させる。

努力点3 がんばる子

健康で安全な生活の習慣化と体力の向上

- 積極的な児童指導体制の確立
 - ・体験活動、ボランティアや児童会活動、交通安全指導、教育相談体制などを充実させる。
- 校内体制の充実
 - ・児童支援の校内体制を充実させ、組織的な対応を図る。
- 関係機関との連携
- 成長期にふさわしい健康な体づくり
 - ・総合的な食育を推進するために、食育の指導の機会を確保する。
 - ・RUNランタイムの改善や外遊びを励行する。
 - ・本校児童の運動面での実態から、跳び箱・マット運動・鉄棒に重点を置いた体育授業を展開する。
 - ・苦手な運動にも前向きに取り組むように、学び合いやお互いに励まし合う体育授業づくりを行う。
- 児童が、自分の命や安全を自分で守ることができるようにする指導
 - 【校内】避難訓練を通して自分の安全確保の仕方を学ばせる。
 - 【校外】地域との連携で安全な登下校体制づくりを行う。
 - 【校外学習】教師の準備と児童への事前指導の充実
- 安全な学校づくりの推進
 - ・安全点検の確実な実施とその結果から速やかに改善を図る。

努力点4 ふるさとをおもう子

学校や地域に誇りをもつ児童の育成

- 『はがまるふるさと学校』で「郷土を学ぶ」、「郷土で学ぶ」
 - ・『はがまるふるさと学校』について持続可能な体制づくりを行う。
 - ・カリキュラム・マネジメントで地域人材の活躍の場を広げる。
 - 「あいさつ日本一への挑戦」家庭・地域を巻き込んだあいさつ運動を実施する。
 - 児童の地域活動への参加を推進
 - ・地域伝統芸能を学校教育に取り入れる。(お囃子クラブ、音楽等)
 - ・ボランティアの指導で、町民音頭を披露できるようにする。
 - ・児童のボランティア体験を奨励する。(町社協、町との協働)
 - ・地域活動への児童が参加する機会を増やせるように地域と連携する。
- 地域とともに歩む学校づくりの推進
- 学校運営協議会、PTA等との連携による地域学校協働活動の推進
 - ・学校運営協議会委員と教職員による熟議を行う。
 - ・スクールボランティアはがきたと連携し、学校教育の多くの場面に学校支援ボランティアを導入する。
 - 積極的な情報発信と学校公開
 - ・学校公開日を地域にも広げる。
 - ・各種たよりを地域に発信する。
 - 「芳賀北小おやじの会」立ち上げ

目指す学校像

長・中期的目標

取組

今年度の重点

【めざす教職員像】

- 児童を大切に、情熱と使命感をもって教育にあたる教職員
- 保護者や地域の人に誠実に対応し、人間性豊かで信頼される教職員
- 教育のプロとしての自覚をもち、資質と指導力の向上に努める教職員
- 一人一人の児童にとって「生涯の師」たりうる教職員

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育の実践

R-PDCAサイクルによる取組の充実、見直し

各種調査等

学期毎に「今年度の重点」を全教職員でCheck&Action

全国学力・学習状況調査 とちぎっ子学習状況調査 芳賀町総合学力調査 Web Q-U 新体力テスト 学校評価



R6 芳賀北小キャッチフレーズ

子供たちに笑顔を地域にあいさつを先生方に幸せを

